

No.2398 有馬三山

2014年 1月26日(日) 時雨のち晴れ

参加者 : 片山夫妻 榎谷 中橋 高石 宮本 大西 山城(L 記)

阪急六甲駅からバスでケーブル下まで行く。昨年の台風被害で休止だったケーブルが昨日から運転再開されている。自然の猛威は近隣にも多大な被害を(嵐山、保津川、箕面)もたらした。登山口に向かう道沿いには真新しい老人ホームが次々と建っている。こうしたホームは急速に需要が増えている。

しぐれ空のなか『油こぶし道』に行く。土曜日の雨雲を今日もまだ持ち越しているらしい。展望の開けた場所から海が明るく見えて晴れて来た〜と安堵したが、それは東の間でまた降り出しミゾレが雪になり風も吹く寒さ!〜汗は出えへん。 気紛れで目まぐるしく変化する天候に気をとられながら歩を進む。いつの間にか登りきって車道に出た。凌雲台にたどり着き早めの昼食にする。お馴染みのガーデンテラスからの展望は真っ白で何にも見えない。極楽茶屋跡へ向かう稜線の下り坂だけはやっぱり凍っていた。しかし茶屋跡から北側には、この時期なのに雪の姿は全く無い! ”雪中の番匠屋畑尾根〜有馬三山に行く”はずなのに想定外となる。

まずは番匠屋畑尾根から湯槽谷山峠を目指します。斜度も段差もそこそこにある登下降を繰り返すコースです。積雪時の平日では人に出会わないが、4人組パーティが有馬方面から登ってきた70代前後とお見受けする(皆さんも頑張ってはるなあ..)丸太階段の登りが続くが下りも急である。途中で一服して湯槽谷峠に来た。分岐があつて紅葉谷方面に下れる。峠から登ること15分で湯槽谷山山頂(801m)『山名の由来は高僧行基が湯槽(ゆおけ)を作る木を切り出した山と言う』

まずは1山目が終了。もう空模様も回復してきた。次なる2山目の灰形山は何故か遠くに感じる。『灰形は有馬茶会で千利休が風炉の灰をこの山の形に盛った事から付いた名と言われている』段差ある下りり登り、所々に嫌な足場もあつたりで山頂(619m)まで50分。最後の3山目の落葉山に入る前にこんな注意書『細く険しい尾根道で難路』らしき事。我がパーティは言わずもがなスリリング好みなのだ。にんまり笑顔で通過する。落葉山(533m)の三角点は墓地の傍にあつた。妙見寺の境内にて一休み。ここから有馬の温泉街が一望に眺められた。

今日、山中で4パーティにすれちがったが皆んな頑張ってるわ。改めて考えたら私らのパーティが一番頑張ってることになる。いいシチュエーション!梅田で乾杯やな。鳥居をくぐり石畳の参道を下る。西国33カ所のお地蔵様が参道沿いに祀っており、ここで33ヶ寺をお参りしたことに成るそうです。道なりに下ったさきには観光案内所バス乗り場の前に出た。さすが日曜日らしく観光客で賑わっていた。有馬温泉街にも景気は少しづつ戻ってきたのかな。

ケーブル下→東屋(休) →ドライブウェイ→凌雲台(昼食)→極楽茶屋跡→休→ 湯槽谷峠→ 山頂→

8:45 9:30^⑬ 10:10 11:10-11:35 11:50 ⑩ 12:30^⑤ 12:50

灰形山→ 落葉山妙見寺→ 下山口(観光案内所前)

13:40 14:15^⑮ 14:45

帰途のバスも渋滞で遅れていた。宝塚経由梅田へ。ご同行ありがとうございました。お疲れ様でした。